

「天の川をめぐる星座(1) ~みなみのかんむり座」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

天の川に近い星座といえば、すぐにはくちょう座やこと座を思い浮かべる。確かにこれらは、1等星を含む派手で目立つ星座で、教科書にも載っている。しかし、天の川をめぐる星座には、小さくても美しいものがいくつかある。「みなみのかんむり座(南冠座)」もその一つである。(写真はすべて北軽井沢 C.Tanaka)



みなみのかんむり座は、いて座の「南斗六星」の左下に位置する。南斗六星の一番左の2つの恒星を延長すると、すぐに見つけられる。



みなみのかんむり座は「不遇な星座」の代表だろう。最も明るい α 星のアルフェッカ・メリディアナでも4等星である。また、天の赤道よりも南側の星座なので、日本では夏に地平線上に、わずかに顔をのぞかせるだけである。よほど空の暗い土地でないと、観望はむずかしい。しかし、この星座は星の並びが非常に美しい。ボールを投げた時の放物線のような。



「南」があるからには「北の冠座」もある。うしかい座の近くにある「かんむり座」だ。こっちが「本家」なので、単に「かんむり座」なのだ。こちらは2等星も含み、星の並びもより均整がとれているので、よく目立つ。私は、この2つの宝石箱のような2つのかんむり座を同時に見られる、夏の夜更けが好きだ。